

松原第六中学校区地域教育協議会

◆◆六中オリジナルマスク◆◆*****

1948年12月10日に国連で世界人権宣言が出され、その日が世界人権デーと定められました。六中では12月に人権週間を設定して、全校で「人権」について考えています。今年は12月7日(月)～11日(金)を「六中人権週間」として取り組みました。

テーマを「勇気と愛が世界を救う！～自分も仲間も大切に～」に設定し、絵本「むこう岸には」(マルタカラスコ(2009)ほるぷ出版)を使ってコロナウイルスについて、恐怖や未知が差別や偏見といった人間の弱さを生み出さすことを学び、そんな弱さに負けないために大切にしたいことを考えました。

また、六中校区地域協や地元企業の協力のもと、人権学習での学びを形にするため、「六中オリジナルマスク」をデザイン、作成し全校で着用することにつなげていきたいと考えています。

マスクのデザインは、ジグソーパズルのピースと平和のピースが掛け合わされ、その中にハトを表現することで、『どんなカラーの人でも手を取り合って平和(安心)を作っていくことができるように』という願いが込められています。

子どもたちを取り巻くより温かいネットワークづくりを進めるためにも、六中地域協では今後も、このマスクを校区の学校園へ、幅広く地域へと広げる活動を応援していきたいと考えています。



松原第七中学校区地域教育協議会

避難所運営実地勉強会*****

いざという時、円滑な避難所の開設と運営ができるように、松原防災士会から講師を招いて勉強会を実施しました。市役所関係者、学校関係者、地域の方も含めて参加し、ゲーム形式でグループごとで力を合わせ、想定された質問に答えました。

その後、避難所のレイアウト作成のため、実際に校舎内を歩いて現地調査をしました。

以前避難所になった経緯もあるので、みなさん積極的に参加していただき、いろいろなご意見をいただきました。

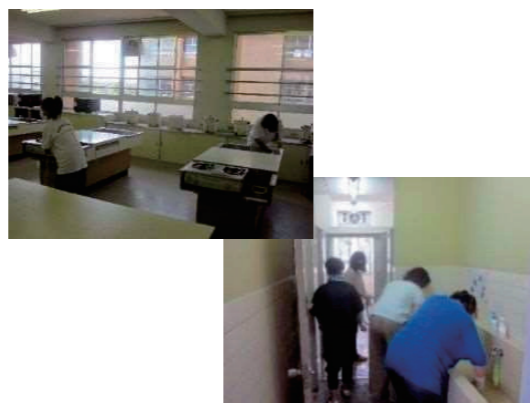
そのご意見などをもとにして、避難所レイアウト案を防災士や市役所関係者、学校関係者、地域の方と一緒にブラッシュアップし、詳細なゾーニングや避難所運営マニュアルなどの策定を進めています。



クリーンキャンペーン*****

例年であれば、各小学校、中学校に分かれて校区内をまわり、ゴミを拾う活動をしていましたが、コロナ禍の状況なので、各学校内のふだんなかなか行き届かない場所の掃除をていねいに行いました。

P T Aの方や地域の方も一緒に協力していただき、すみずみまできれいになりました。



すこやかネット・まつばら

～教育コミュニティのエンパワメントをめざして～

松原市内7つの中学校区にある地域教育協議会では、フェスタ・クリーンキャンペーン等さまざまな取り組みを通じて、地域の子もどうし、子どもと大人、大人どうしが交流し合い、「顔と名前の一致する人間関係」を育む教育コミュニティの推進と共に、学校教育活動への支援・協力を行っています。

学校支援地域本部事業 文部科学省・大阪府補助事業

～教育コミュニティづくりの拡大・発展～

学校支援地域本部事業

松原市地域教育協議会
松原市教育委員会



大阪「こころの再生」府民運動
～大阪あったかプロジェクト～

令和3年3月発行

松原中学校区地域教育協議会

松中校区ISS子ども会議*****

2月9日(火)に松中校区ISS子ども会議を行いました。当日は新型コロナウイルス感染予防のためZOOMでの開催となりましたが、新しい試みもとても有意義な会になりました。

- (1) はじめに
松中生徒会長よりあいさつ
- (2) ISS子ども会議のめあて
松中 ISS担当より
 - ①「お互いの顔を見て、知り合い、各学校の良さ違いを認め合える交流をしましょう」
 - ②PPTでのISSの概要について
- (3) 各学校の活動紹介
 - ①松原小学校 ②河合小学校
 - ③松西小学校 ④松原中学校
- (4) 質問コーナー
感想：他の学校のように活動していきたい。
活動は同じでも効果や現状が違うので、勉強になりました。



松原第二中学校区地域教育協議会

避難所運営実施勉強会

天美北小学校

本校区は、水害時には避難所にはなりません。地震等で避難所を開設することになった場合を想定した勉強会を実施しました。

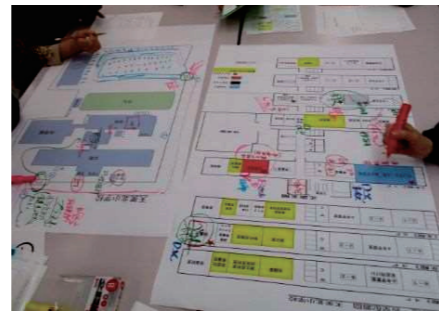


感染症防止対策を踏まえた円滑な避難所の開設と運営をめざし、防災士・地域の会長・市プラネット職員・PTA・教職員などが集まり、ゲーム形式でゾーニングの作業を行いました。



グループで校舎の中や外を見て回り、どこにどのような場所や物があるのかを把握した上で、校舎図を見ながら問題を解決していきます。受付場所は？一般避難者は？発熱の方は？コロナ感染疑いの方は？乳幼児を連れてきた場合は？物資の搬入は？使用トイレはどこを？動線は？など、次々に出される問題に対する策を練り場所を決めていきます。

地域防災の視点で学校を交えて勉強会を行えたことで、配慮すべきことや備蓄で不足している物資、現在の課題などを共有できました。今回の意見をもとに、市の危機管理課と協力し、学校全体の避難所レイアウトを作成していきます。



松原第三中学校区地域教育協議会

みんなの力で

【クリーンキャンペーン】

毎年恒例のクリーンキャンペーンを今年度も行いました。地域協、PTA、生徒会専門委員会、クラブなど、約200名の参加がありました。日頃、手の届かない溝そうじや草引き、グラウンドのにがりまきなど行い、とてもきれいになりました。地域の皆さん、PTAの皆さんありがとうございました。



【子どもISS会議】

安心安全な学校づくりをめざして、布忍小・中央小の児童会と松原三中の生徒会が集まり子どもISS会議を行っています。

アイスブレーキングで、仲を深めたり、“どんな学校にしていきたいか。”話し合ったりしてします。そんな話し合いで出されたことを校区で、取り組んでいます。

学習を頑張る“はなまるちゃんウイーク”に取り組みました。はなまるちゃんのはんこは、三校共通です。

みんな、声をかけ、よく頑張っていました。



松原第四中学校区地域教育協議会

地域の米作りから学ぶ

松原市立三宅小学校

◎5年生：米作り体験「田んぼーズ」

校区の学習田をお借りして、米作りを実施。今年度は感染症対策のため田植えはできませんでしたが、稲刈りや脱穀、藁を使ったリースづくりなどを実施しました。地域の方とふれ合いながらたくさんのもち米が収穫できました。校区の中学校や幼稚園などにもおすそ分けをして、喜んでいただきました。



◎3年生：三宅町土地改良区との連携

学校のすぐ近くにある土地改良区について、どんな仕事をしているかの聞き取りを行いました。また、農機具の展示も見学し、昔の道具についても学ぶことができました。



◎全学年：感謝の会 (12月)

校区内で登下校の見守りをしてくださっている「三宅連合さくら会」のみなさんをお礼の会にご招待して感謝の気持ちを伝えました。今年度は残念ながら代表者のみでしたが、児童会代表からお礼の言葉と、1年生からは手作りリースをプレゼントしました。リモート朝会で各教室からその様子を見ることができました。



松原第五中学校区地域教育協議会

あいさつ運動

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動が制限される中、感染対策をしっかりと行い、8月20日(木)・1月5日(火)の2回、校区小学校と中学校であいさつ運動を実施しました。当日は地域教育協議会の事務局をはじめ、校区防犯協議会、校区保護司会、各校PTAの皆様に参加いただきました。

2学期と3学期の始業式の日でもあり、緊張した様子で登校する児童・生徒に、あいさつの声をかけていただき、さわやかに新学期を迎えることができました。

今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をとりながら、どのように活動していくのか地域教育協議会でもしっかりと考えながら活動を進めていきたいと思っております。

